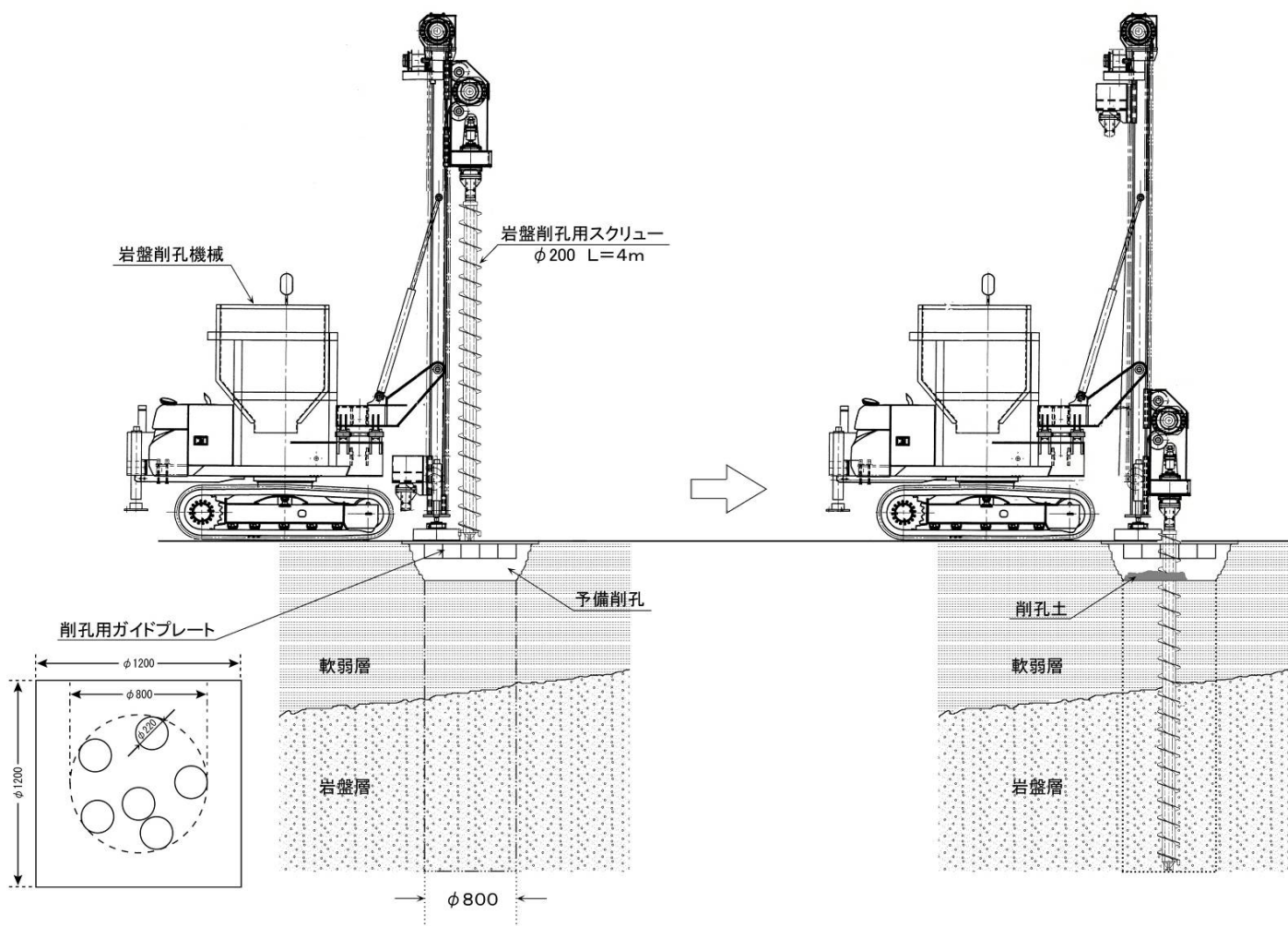


スーパーまるぼりくん工法 岩盤対応技術

まるぼりくん工法では、粘性土の掘削限界がN値25程度までで、これ以上の硬さの粘土や軟岩層は掘削不能であることから、工法の適用対象外とするか、鋼管内に作業員が入って、人力研りを行うほか方法がありませんでした。

岩盤層では、人力研りでもダウンザホールハンマーの様な機械施工でも多大なコストがかかり、施工をあきらめる場合も多くみられました。この度、岩盤削孔機と削孔スクリーウの導入により、軟岩層の低コスト破碎が可能となった為、まるぼりくん工法の適用範囲が大きく広がりました。



【機械仕様】

本体重量	123.6 KN
機械全幅	2,300 mm
作業時全高	7,113 mm
オーガトルク	19.8 KN/m
オーガストローク	4,000 mm
可能施工深さ	6,000 mm
岩盤削孔用スクリーウ外径	200 mm

【削孔可能岩盤】

岩種	軟岩
一軸圧縮強度	50N/mm ² 以下
地山弾性波速度	3,000m/sec 以下
つるはし等、尖った金属が反発することなく、傷付ける事が出来、複数回の打撃で破片をつくる事が出来る程度以下の硬さであること。	



<予備削孔>



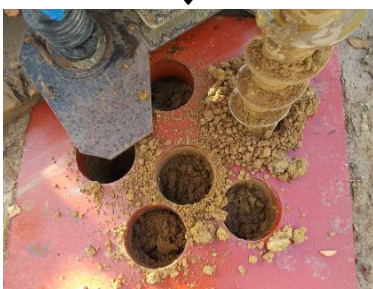
<ガイドプレート設置・芯出し>



<ガイドプレート固定>



<削孔中>



<削孔中>



<削孔中>

その1

軟弱表土上からの施工可

ダウン・ザ・ボールハンマー等の削孔機械を使用する際には、軟弱表土層の除去が必要でしたが、本機はその必要がありません。

その2

低コスト

大規模な仮設を必要とせず、専用機の搬入とガイドプレートの設置のみの為、低コストであり、狭隘な現場も施工が可能。

その3

短工期

着工から完工まで殆んどが一日で終了。

その4

無振動、低騒音

オーガ削孔の為、無振動、低騒音。

その5

各種径に対応

ガイドプレートを変更すれば、どんな径にも対応可。

特殊鋼と超硬合金チップの組み合わせで、驚異の耐久性を実現！

